

図案表現 課題

2022年・後期の商業施設士資格試験・構想表現（実技）試験、**図案表現**は、以下の内容などをもとに、試験時間内（180分）に、設計主旨、平面図、透視図（イメージパース）を完成させる課題となっています。

テーマ：「旧公民館施設を活用した商業施設へのリノベーション」

－ 周辺環境 －

1. この旧公民館施設は平屋建ての木造建築物で、現在は空き施設となっている。
2. 都心から公共交通機関を使って1～2時間ほどに位置し、都心と観光地を結ぶ幹線道路沿いに位置している。
3. 今回の計画施設である商業施設のターゲットは、地元住民のみならず、他地域からの観光客も捉えている。

－ 設計対象等条件 －

指定された計画地（区画）に、次の4つの業種店のうち、1つの業種もしくは2つの業種の併設店とし計画する。

- (1)「カフェ」、(2)「市場」、(3)「食堂」、(4)「日用雑貨店」

－ 設計図書 －

設計主旨：200字程度で具体的にかつ簡潔に記述する

平面図：縮尺1：100、鉛筆等を用い（フリーハンド可）、答案用紙の所定の位置に作図する面積、家具、仕上、寸法（単位：ミリメートル）等を記入

透視図：一点透視図法または二点透視図法で「ファサードパース」または「店内パース」とし、着色を行う（フリーハンド可。着色は色鉛筆またはマーカー（併用も可））

- ・「ファサードパース（通路から見たもの）」は、内部空間の表現も行うものとする（必要に応じ、サイン、仕上を記述する）
- ・「店内パース」は、全体表現もしくは部分表現とし、部分表現の場合は2～3カットの描写をする（必要に応じ、仕上を記述する）

[答案用紙：A3判 × 2枚]

注 i：その他の与条件については、試験日当日の構想表現（実技）試験時間内に問題用紙に記載して配布します。

注 ii：卓上計算機の使用は可となっていますが、スマートフォンを含む電子機器の機能中の計算機（電卓機能）は使用不可とします。

注 iii：その他試験に関する詳細は総合案内書をご覧ください。

注 iv：本紙は、試験時間中に試験室（決められた座席）に、携行することができません。